







---

## その他 用語集

---

### 夕刻

海も田んぼも茜色に染まります。

夕焼け小焼けのチャイムが流れたら

仕事も遊びもみな終えて、

家路につく人々の背が見えます。

あたりから「ただいま」の音が聞こえてきました。

おかえりなさい。今日も一日お疲れ様でした。

# その他 用語集

No.	用語	解説
1	アイデンティティ	自分が自分としての一つの個性を持った人間であり、他者や社会に認められていると感じる感覚のことです。
2	アンドロイド	動きや外観が人と見分けがつかないほど精巧に作られた人型ロボットのことで。
3	オープンデータ	国、地方公共団体及び事業者が保有する官民データのうち、国民誰もがインターネット等を通じて容易に利用（加工、編集、再配布等）できるように公開されたデータのことで。
4	キャッシュレスサービス	紙幣や硬貨などの現金を使わずに、クレジットカードや電子マネーなどで支払いができるサービスのことで。
5	共助	災害等が発生した際、お隣さんや地域など、周囲の人々と助け合うことです。
6	行政計画	行政が計画策定主体となり、町民が確かな「未来」の社会を実感できる将来像を示し、行政運営の総合的な指針として全ての計画の基本となる計画として、行政が計画目標の実現に取り組む計画です。
7	公共計画	地域社会全体が計画策定主体となり、町民が確かな「未来」の社会を実感できる将来像を示し、行政運営の総合的な指針として全ての計画の基本となる計画であると共に、地域社会全体が計画目標の実現に取り組む計画です。
8	公助	災害等が発生した際、自治体・自衛隊・警察・消防等、行政機関が被災者、被災地を守ることで。
9	シェアハウス	1つの住居を複数人で共有して暮らす賃貸物件のことで。
10	ジェンダー	生物学的な性とは違い、男性と女性の役割の違いなど社会的・文化的につくられている性別のことで。
11	自助	災害を自分事として捉え、万が一の際に自らの命を自分で守ることで。

No.	用語	解説
12	実質公債費比率	標準的な収入(標準財政規模)に占める実質的な公債費(借金返済額)の割合で、比率が低いほどよいものです。18%を超えると、新たに借金をしようとする際に、県の許可が必要となります。
13	シティプロモーション	地域の魅力や価値を内外にアピールし、地域の活性化を図る取り組みのことです。
14	シビックプライド	愛着や誇りをもち、地域をより良くしていこうと考え関わっていこうとする思いのことです。
15	テレワーク	時間や場所にとらわれない柔軟な働き方のことで、情報技術を使って会社から離れた自宅などで仕事をすることです。
16	デマンド方式	あらかじめ決まった時間帯に決まった停留所を周るのではなく、電話予約など利用者の希望に応じて運行する方式のことです。
17	ドローン	無人で遠隔操作や自動制御によって飛行できる航空機の総称です。
18	ファシリテーター	グループや組織が協力し、目的達成のための計画立案を支援する人のことです。
19	ファミリープログラム	子育てやPTA活動等での悩みを抽出し、その悩みを共有することで、安心を得られ、かつ今後に活かすための対策やヒントを得ることができる親のための学習プログラムです。同じ悩みを共有することで仲間やコミュニティづくりを醸成する目的もあります。
20	プレスリリース	新商品の発売や新サービス、新規事業の開始などの情報を、メディアがニュース素材として利用しやすいようにまとめた公式文書のことです。
21	プロジェクトマネージャー	計画全体の進行を管理し、予算や品質、納期、成果の質に対して全責任を持つ役職のことです。
22	フロントヤード	自治体と住民の接点となる庁舎窓口や公共施設、電子申請を行う際のスマホやPCなどの機器のことです。
23	モビリティサービス	より便利で持続可能な移動手段を実現するための交通や移動に関連するサービスのことで、

No.	用語	解説
24	ユニバーサルデザイン	年齢や性別、文化の違い、障がいの有無によらず、誰でもわかりやすく、使いやすい設計のことです。
25	リスキリング	仕事や活動に必要な知識や技術(スキル)を身に付けていくことです。
26	リモートワーク	会社に行くことなく、別の場所で仕事をする働き方です。
27	ワークライフバランス	働くすべての方々が、『仕事』と育児や介護、趣味や学習、休養、地域活動といった『仕事以外の生活』との調和をとり、その両方を充実させる働き方・生き方のことです。
28	ワーケーション	「ワーク」と「バケーション」をかけた造語で、会社を離れ、旅行先・帰省先・リフレッシュ地などで余暇を楽しみながら、仕事をする働き方のことです。

No.	用語	解説
29	AI(エー・アイ)	「Artificial Intelligence(アーティフィシャル インテリジェンス)」の略で、人間の言葉の理解や認識、推論などの知的行動をコンピュータに行わせる技術(人工知能)です。
30	BPR(ビー・ピー・アール)	「Business Process Re-engineering(ビジネスプロセス・リエンジニアリング)」の略で、業務の流れ全体を抜本的に見直し再構築することです。
31	DX(ディー・エックス)	「Digital Transformation(デジタル・トランスフォーメーション)」の略で、データとデジタル技術を活用し、生活や経済、社会全体をより良く変革していくことです。
32	IoT(アイ・オー・ティー)	「Internet of Things(インターネット・オブ・シングズ)」の略で、すべてのモノがインターネットにつながる技術のことです。
33	RPA(アール・ピー・エー)	「Robotic Process Automation(ロボティック・プロセス・オートメーション)」の略で、パソコンで行っている事務作業を自動化できるソフトウェアロボット技術のことです。
34	SDGs (エス・ディー・ジーズ)	Sustainable Development Goals(サステイナブル・ディベロップメント・ゴールズ)の略で、日本語では「持続可能な開発目標」と呼ばれます。2015年9月の国連サミットで採択された、持続可能な世界を実現するための17の目標と169のターゲットからなる国際目標です。
35	VR(ブイ・アール)	「Virtual Reality(バーチャル・リアリティー)」の略で、コンピューターによって創り出された仮想的な空間などを現実であるかのように疑似体験できる仕組みのことです。